

留学体験記

アメリカ・デラウェア大学で過ごした 10 か月

JSAF FLAP 留学レポートより

「人生の中でも成長を感じる 10 か月でした。英語の上達と異文化に触れるという目的は、どちらも達成できました。」

留学先	デラウェア大学(University of Delaware／アメリカ・デラウェア州)語学プログラム(ELI)
在籍大学	青山学院大学 理工学部 物理科学科 2 年
留学期間	2024 年 8 月～2025 年 6 月(10 ヶ月)

※本体験記は派遣生の FLAP 留学レポートをもとに再構成したものです。

1. 留学の目的

今回の留学の目的は、「英語の上達」と「他国の文化に触れること」の 2 つでした。10 か月の留学を終えて、この目的はどちらも達成できたと感じています。

2. 語学学校と授業

■ 学校とクラスの概要

項目	内容
学校の学生数	約 50 名(うち日本人は約 5 名・約 10%)
クラスの平均人数	約 10 名(うち日本人は約 2 名)
クラスメイトの国籍	韓国、中国、サウジアラビア、トルコ、メキシコなど(ほかに台湾、タイ、インドネシア、UAE、ロシア、イタリア、フランス、ドイツ、スペイン、ハンガリー、チェコ、ブラジル、アルゼンチン、カタール、オマーンなど多国籍)
受講したコース	Reading／Writing／Listening／Speaking(レベル 3～6)
使用した教材	『Skills for Success』『Understanding and Using English Grammar』

■ 授業の内容

留学開始直後のクラスは簡単でしたが、最後に受講したクラスは学ぶことの多い良いレベルでした。面白かったのは Business(レベル 4)の授業で、投資などについて学びました。

日本の授業と比べると、全体的に雰囲気はゆるやかで遅刻にも寛容な一方、生徒と先生のつながりが強いと感じました。教え方や授業の質は先生によってさまざまです。学校スタッフでは、日本人スタッフの方がとても頼りになりました。

■ がんばったこと

最もがんばった授業は、STEM(レベル 6)です。理系の内容を英語で学ぶ授業で、苦労もしましたが、物理科学科で学ぶ自分にとって挑戦しがいのある授業でした。



緑豊かなキャンパスと、路上に描かれた「UD class of 2025」のチョークアート

3. 語学力の伸びと工夫

スキル	苦労した点	工夫した点
リスニング	そもそも聞き取れない	頭の中でシャドーイングする
スピーキング	文が出てこない	とにかくしゃべる
リーディング	単語力	暗記
ライティング	単語力	暗記

勉強に役立ったのは、洋楽を聞くことと、友達と出かけてとにかくしゃべることです。留学開始当初と比べて英語力はかなり伸び、英語での会話を楽しめるようになりました。

4. 滞在先と生活

■ 滞在先と食事

滞在先はホームステイで、1 人部屋でした。通学時間は約 15 分です。備品はほぼそろっていましたが、ドライヤーと炊飯器があるとよいと思います。

ホストファミリーとの関係では、ビジネスライクな面も少し感じました。不満があればしっかり伝えること、テキストメッセージですれ違いがないか確認することを心がけていました。食事は、スーパーで食材を買って週末にカレーなどを作り置きしていました。

■ 1 週間・1 日の過ごし方

平日は 8 時 15 分から 12 時 30 分まで授業を受け、放課後はジムやカフェ、クラブ活動で過ごしました。土日はジムに行ったり宿題をしたりして過ごしました。一番の息抜きはジムと友達との電話で、日本の家族や友達とは週 1 回ほど連絡を取っていました。

■ 街と治安

キャンパスは治安が良く、夜でもキャンパス内を歩くことができます。自然豊かで落ち着いた環境ですが、田舎なので車がないと行動範囲は限られます。周辺のおすすめスポットはクリスティアーナモールで、ニューヨークやワシントン D.C. 方面にも出かけられます。

■ 交友関係

友達づくりでは、クラブに参加すること、自分から話しかけること、昼ごはんを一緒に食べることを心がけました。大変だったのは留学初期の友達づくりで、作り方が分からず出会いの場も少なく苦労しました。だからこそ、クラブへの参加が大きな助けになりました。

5. 課外活動と旅行

課外活動では、JCLC というクラブに参加しました。日本に興味のある人が集まるクラブで、友達をととても作りやすい場でした。現地学生や留学生との交流も、このクラブを通じて広がりました。

留学生活で最も良い思い出は、西海岸への旅行です。飛行機や宿の予約などをすべて英語で行ったことが、とても良い経験になりました。



夕焼けに染まるキャンパス周辺の街並み

6. 費用と持ち物

項目	内容
生活費(月のお小遣い)	約 3 万円
日本から持ってくれば良かった物	ジャージ
現地に持って行って便利だった物	水筒、サングラス
渡航前に準備すべきだったこと	単語力

7. 留学を終えて

留学の目的だった英語の上達と異文化理解は、どちらも達成できました。留学を通して、海外の価値観を知ることができ、海外でも活動的になれたことが自分の成長だと感じています。また、留学前と比べて「治安がいい」という点で留学先のイメージが良い方向に変わりました。

デラウェア大学 ELI の先生方やスタッフ、仲間たちの温かいサポートのおかげで、学業面でも人間面でも成長することができました。ここで得た知識と経験は一生の財産です。今後の進路としては、大学院への進学を考えています。

8. 後輩へのメッセージ

「とにかくクラブに入って、車を持っている友達を作ろう！」

治安が良く自然のある落ち着いた環境なので、腰を据えて英語を学びたい方におすすめです。

本体験記は、JSAF 派遣生による FLAP 留学レポートをもとに再構成したものです。